

業務委託実績報告書

平成 23 年 3 月 18 日
公益財団法人財務会計基準機構

(1)IASB プレスリリース翻訳に係る情報提供

年月日	表 題
2010.9.28	<u>IASB と FASB が概念フレームワークの第 1 段階を完了</u>
2010.10.7	<u>IASB が、金融資産の譲渡取引に関する認識の中止の開示要求の拡充を確定</u>
2010.10.12	<u>評議員会がハンス・ホーヘルホルスト氏をデイビッド・トウィーディー卿の後任に指名</u>
2010.10.19	<u>IASB と FASB が会計基準の発効日に関して意見を募集</u>
2010.10.28	<u>IASB が金融負債の会計処理に関する IFRS 第 9 号への追加を公表</u>
2010.11.29	<u>IASB と FASB が、IFRS と米国会計基準のコンバージェンス作業の継続的な進捗を報告</u>
2010.12.8	<u>IASB が経営者の説明に関する IFRS 実務記述書を公表</u>
2011.1.28	<u>IASB と FASB が貸借対照表上の相殺の要求を合わせることを提案―IFRS と US GAAP の相殺の要求の相違が解消へ―</u>
2011.1.31	<u>IASB と FASB が減損会計に関する共通の解決策を提案―両審議会が金融商品会計の基本的な局面に対応―</u>
2011.2.25	<u>鶯地隆継氏を IASB 理事に指名</u>

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/iasb/press/

(2)公開草案等の翻訳に係る情報提供

公表日	翻訳対象	頁数 (和文)
2010.10.8	公開草案 「保険契約」	159
2010.10.15	公開草案 「リース」	116
2010.11.10	公開草案 「財務諸表の表示」	104

公表日	翻訳対象	頁数 (和文)
2010.11.18	意見募集 「発効日と移行方法」	21
2010.12.3	教育文書 「減価償却とIFRS」	7
2011.1.14	公開草案 「ヘッジ会計」	132
2011.3.1	意見募集 「金融商品の減損」	60
2011.3.4	公開草案「財政状態計算書における金融資産と金融負債の相殺」	41

(3)IASB 傍聴実績

会議名(開催地)	開催期間	主なテーマ
<u>第 128 回 IASB 会議/FASB と の合同会議 (ロンドン)</u>	2010.10.19～22	①金融商品(償却減価及び減損)、②金融商品(ヘッジ会計)、③包括利益計算書の改訂(一計算書方式への統一)、④退職後給付、⑤MOU プロジェクトの発効日、⑥リース(アウトリーチ活動などの報告)、⑦採掘活動(extractive activities)及び⑧年次改善。FASB との合同会議:⑨公正価値測定、⑩排出枠取引スキーム、⑫金融商品の資本と負債の区分、⑬財務諸表の表示及び⑭概念フレームワーク(報告企業)
<u>第 131 回 IASB 会議 (ノーウオーク)</u>	2010.11.16～18	IASB 会議:①金融商品(ヘッジ会計)、②退職後給付、③負債(IAS 第 37 号(引当金、偶発負債及び偶発資産)の改訂、④IFRS 第 1 号(初度適用)の見直し(固定適用日の廃止)、⑤国際財務報告基準解釈指針委員会の活動状況報告及び⑥今後の作業計画 FASB との合同会議:⑦金融商品(償却減価及び減損)、⑧金融資産と金融負債の相殺(マスター・ネットティング契約)、⑨包括利益計算書の改訂(一計算書方式への統一)、⑩概念フレームワーク(報告企業)、⑪排出枠取引スキーム、⑫公正価値測定及び⑬収益認識
<u>第 135 回 IASB 会議/FASB と の合同会議 (ロンドン)</u>	2010.12.13～17	①金融商品(償却減価及び減損)、②退職後給付、③連結、④公正価値測定、⑤IFRS 第 1 号(初度適用)の見直し(超インフレ)及び⑥国際財務報告基準諮問会議の活動状況報告。 FASB との合同会議:⑦金融商品(償却減価及び減損)、⑧金融資産と金融負債の相殺(マス

会議名(開催地)	開催期間	主なテーマ
		ター・ネットィング契約)、⑨公正価値測定及び⑩収益認識
第 136 回 IASB 会議/FASB と の合同会議 (ロンドン)	2011.1.18～21	①退職後給付、②連結、③年次改善関係(年次改善プロセスにおいてテーマ選定に用いる「適格規準」の見直し及び国際会計基準(IAS)第 1 号(財務諸表の表示)の改訂)④国際財務報告基準(IFRS)解釈指針委員会の活動報告。FASB との合同会議:⑤金融商品(償却原価及び減損)⑥収益認識、⑦リース及び⑧保険会計(受領した公開草案に対するコメントの要約及びそれに対する議論)に関する議論
第 138 回 IASB 会議 (ロンドン)	2011.2.15～18	①退職後給付及び②連結関連の I F R S の発効日及び早期適用、F A S B との合同会議では、③収益認識、④金融商品(償却原価及び減損)、⑤リース、⑥保険会計及び⑦各基準に共通する論点(クロスカッティング問題)
第7回 JIG 会議 (ロンドン)	2010.12.06	財務諸表表示に関する国際共同会議 ①一体性原則、セクション・カテゴリー、財政状態計算書、②キャッシュ・フロー計算書、③収益及び費用項目の分解、④資産・負債の増減分析、⑤次の段階

※報告書は、別添のとおり。

(4)IASB の動向

[IASB の動向\(2010 年 8 月～10 月\)](#)

[IASB の動向\(2010 年 11 月～2011 年 1 月\)](#)

(5)IASB の円卓会議等

開催日	円卓会議内容
2010.10.4、6	財務諸表の表示(アウトリーチ)
2010.12.3	リース会計(ワークショップ)
2010.12.9-10	保険契約(円卓会議・ワークショップ)
2011.2.7-8	ヘッジ会計(アウトリーチ)

(6) 欧州における IFRS 適用調査

調査日	訪問先
2011.2.13-3.4	イギリス、フランス、ドイツの企業、規制監督者、会計士協会、税務当局、司法当局監査法人等、33 箇所を訪問

※ 訪問先詳細、スケジュールは、別添のとおり。